

■高島野十郎 画家。世の中の趨勢を見向きもせず、生涯独身、一貫して写実を追求した。

たかしまやじゅうろう
帝国議会始・1890＝

福岡県久留米市で、酒造業を営む素封家で名士高島善蔵の四男に生まれる。本名彌壽。

母方は画才の多い家系で、絵の名手だった祖父の手ほどきを受けて育ち、

Bushidou・・1899＝9歳：

12上の長兄で詩人の宇朗の影響で、郷里の天才画家青木繁のことも意識し、画家を志すようになるが、

韓国反日暴動1907＝17歳：この年、青木繁が放浪の身となって帰郷していたこともあって、許されず、
アヲヲ創刊・1908＝18歳：名古屋の第八高等学校に進学。

韓国併合・・1910＝20歳：父が死去。

東京帝国大学農学部水産学科に入学。

第一次大戦始1914＝24歳：この年、梅原龍三郎らが二科会を創立。絵への攻撃的願望示す「傷を負った自画像」。

民本主義・・1916＝26歳：*首席で卒業し、将来を嘱望されるも、恩賜の銀時計を辞退してまで覚悟の上、画家の道を選び、
ロシア革命・1917＝27歳：母が死去。
独学で絵の勉強に励む。

大暴落・・・1920＝30歳：「絡子をかけたる自画像」。東京の坂本繁二郎邸で開かれた松田諦晶中心とする久留米出身画家グループ来
目の発会の集まりに参加。以後、松田諦晶や古賀春江と議論しながら研鑽、

原敬首相暗殺1921＝31歳：*初の個展を開くまでになる。

水平社結成・1922＝32歳：初期の代表作「椿」。

関東大震災・1923＝33歳：「りんごを手にした自画像」。

護憲三派圧勝1924＝34歳：2回目の個展。

治安維持法・1925＝35歳：「けし」「落暉」「月夜の雲」。

円本時代始・1926＝36歳：

共産党事件・1928＝38歳：自然主義的写実様式の生き残りかける{黒牛会}結成に参加、以後3年連続出品し、好評となるが、

世界恐慌・・1929＝39歳：石田礼助らの推薦を得て、大連で個展開催後、

海軍軍縮条約1930＝40歳：{黒牛会}も自然解消するに至り、兄の援助を得て、渡欧。

ほとんど一人で活動した後、
帰国。帰郷して、アトリエを建てる。

芥川直木賞始1935＝45歳：滞欧作品油絵個展。

二二六事件・1936＝46歳：実家とトラブルになり、上京。

日中戦争始・1937＝47歳：日本橋白木屋で「滞欧作品展」。

第二次大戦始1939＝49歳：大阪でも「滞欧作品展」。

日米開戦・・1941＝51歳：銀座の画廊で個展。

年金+総武装1944＝54歳：

敗戦・・・1945＝55歳：東京大空襲で焼け出され、福岡県八女に嫁いでいた姉を頼る。

新憲法公布・1946＝56歳：「古池」。

極東裁判決・1948＝58歳：再び上京。

三大事件・・1949＝59歳：「すいれんの池」。

その後、画壇とは没交渉で独自の道を歩み、

独立回復・・1951＝61歳：銀座資生堂で個展。

マーデー事件・1952＝62歳：「春の海」。

テレビ放送始・1953＝63歳：「秋の花々」「寧楽の春」。

自衛隊発足・1954＝64歳：「カンナとコスモス」。

55年体制始・1955＝65歳：「壺とりんご」「空の塔」。

なべ底不況・1957＝67歳：「流」。博多大丸で「高島野十郎展」。

インスタントメン・1958＝68歳：「高原の道」「法隆寺塔」。

美智子妃・・1959＝69歳：日本橋丸善で個展。

安保闘争・・1960＝70歳：*千葉県柏市の田園に、自ら設計した質素なアトリエを建てて移転、晴耕雨描の隠遁生活を送りながら、

全国総合計画1962＝72歳：

TV宇宙中継始1963＝73歳：「月」。

大学紛争始・1965＝75歳：日本橋丸善で個展。「雨 法隆寺塔」「菜の花」。

いざなぎ景気1966＝76歳：秩父の札所を巡礼。

美濃部都知事1967＝77歳：小豆島ほかを巡礼。*この年、開発業者がアトリエの土地潰しに訪れて闘いが始まり、

大阪万博・・1970＝80歳：劇場の階段で転落骨折後、ついに土地売却するまでの経緯を小説「なりゆくなれのはて」として書き残す。

ドルショック・・1971＝81歳：

角栄金脈辞任1974＝84歳：ようやく日本橋丸善での個展開催にこぎつけるも、

クアランゴール事件1975＝85歳：「睡蓮」。体調悪化で入院、退院後千葉県野田市の老人ホームに入り、心不全で没した。

川崎淡「過激な隠遁」、